

日本老年薬学会 第1回公開シンポジウム

高齢者の医薬品適正使用

～薬剤師から処方提案しよう！～

高齢者に対する適切な薬物治療の実践を医師と薬剤師が協働

2018年7月 1日(日) 13:00～17:30(開場12:30)

藤原洋記念ホール(慶應義塾大学日吉キャンパス)

2018年7月29日(日) 13:00～17:30(開場12:30)

キャッスルプラザ名古屋駅前ホテル(予定)

会員:無料・非会員(医療関係者):1,000円(各会場定員500名)

(※お席に余裕がある場合は、事前参加申込みしていない方もご参加が可能です。
当日受付の場合、先着順に入場をご案内いたします。)

13:00～14:00

特別講演1「高齢者の精神科領域における減薬の考え方」

水上 勝義(筑波大学大学院人間総合科学研究科 教授)

学会員対象に実施したアンケートで講演の要望が多かった精神科領域の処方見直し、減薬の考え方について講演していただきます。

14:10～16:10 症例報告「高齢者の薬物療法への薬剤師の寄与」

スーパーバイザー

小島 太郎(東京大学医学部附属病院老年病科 講師)

溝神 文博(国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター薬剤部)

薬局、病院、介護老人保健施設に勤務している4名の老年薬学認定薬剤師に、認定申請時に提出した症例を報告していただきます。会場との質疑応答、スーパーバイザーからのフィードバックを行います。

報告者(関東)

新井さやか(千葉大学医学部附属病院)・菅原健一(栃木医療センター)

中谷美夏(ふくろうクリニック等々力)・松本由起(ファークロス薬局 あい)

報告者(名古屋)

相宮幸典(スギ薬局 野立橋店)・上地小与里(株式会社ファークロス(ほのか薬局))

高井靖(三重ハートセンター)・丸岡弘治(介護老人保健施設 横浜あおぼの里)

16:20～17:20

特別講演2「高齢者の医薬品適正使用の指針(総論編)」

秋下 雅弘(東京大学大学院医学系研究科 教授)

厚生労働省 高齢者医薬品適正使用ガイドライン作成ワーキンググループが作成している「高齢者の医薬品適正使用の指針(総論編)」について、同ワーキンググループの主査秋下先生に解説していただきます。

※日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度の受講シール(2単位)、日本病薬病院薬学認定研修単位シール(2単位:カリキュラムV-3)配布予定(どちらか一方選択)

※日本老年薬学会単位シール(2単位)配布

学会ホームページ <http://www.jsgp.or.jp/index.html>

日本老年薬学会

検索

学会年会費 [一般会員]5,000円/[学生会員]1,000円